



ネツシンが世界に誇る白金抵抗素子【Ptセンサー】は、限りなく「点」に近づくことで、高速/高精度/広温度領域の温度計測を実現します。マイクロデバイスなどのミクロの技術から、環境計測や建築などの大規模な技術まで、今やあらゆる先端技術に高精度な温度計測は欠かせません。まさに現代文明を支える「原点技術」、それがネツシンの【Ptセンサー】です。

**NETUSHIN**  
Ptセンサーのトップメーカー

<http://www.netsushin.co.jp/>

原点  
技術

半導体業界のニーズに応える  
ヴァイサラの湿度/露点/気圧計測は、  
高精度、長期安定性、素早い応答時間を実現します。

#### プロセスガスラインの品質モニタリング

ヴァイサラDMT340シリーズは、  
プロセスガスライン(N2および圧縮空気)の  
モニタリング向けに高精度の計測オプションを提供します。

[www.vaisala.co.jp](http://www.vaisala.co.jp) 半導体製造キャンペーンサイト  
[www.vaisala.co.jp/SCLP](http://www.vaisala.co.jp/SCLP)

#### 半導体製造工程の品質向上に

気圧/温度/湿度の正確で安定した計測によって、  
精密空調や装置のパフォーマンスを大幅に向上させ  
ることができます。半導体製造工程や機器の仕様には、高度な空調管理と  
製造環境に関する正確なデータが求められ、  
精度の高い管理技術によって、より微細な回路/パターンの  
高精度かつ高速な加工が可能になります。

#### 気圧、湿度、温度の3要素を 一台の一体型変換器で計測

独自に開発されたヴァイサラPTU300シリーズは、  
3つの重要なパラメータを同時に計測します。  
その抜群の正確さは、レーザー干渉計補正に最適です。

#### OEM 用途

ヴァイサラDMT143 フロープはコンプレッサーの中に  
変換器を直接取り付けることができ、メンテナンスの  
頻度が低減されます。

**VAISALA**

# 半導体デバイスの新市場に挑戦

窒化ケイ素をベースに開発した金属セラミック基板(ノリタケカンパニーリミテッド提供)

IOTに使われている半導体チップ  
'Quark' (米インテル提供)

有機半導体薄膜

評価法も標準化

ウエアラブル端末、IOT、自動車の電装化など、世界的な流れを背景に、半導体市場は今後も成長が続く見通し。そうした中、米インテルは2013年9月に、IOTに使われる半導体チップで、同社4種類目となる新製品「Quark(クオーカーク)」を披露しました。Quarkは性能の高さよりも、低消費電力かつ小型な製品が適したアプリケーション向けのインターネットに接続された機器(IOT)からウエアラブル・コンピューティングに至るまで、成長を続ける市場での同社のビジネスを拡大しようとしている。

ノリタケカンパニーリミテッドは14年6月に次世代パワー半導体材料として期待される炭化ケイ素

電子情報技術産業協会(JEITA)の分野別部会「半導体部会」の傘下にある「quinckel(クインクル)」が、高密度集積回路(LSI)とパッケージとボードの相互接続規格を目指して取り組みを行っている。米国電気電子学会(IEEE)標準の決定を経て、17年の国際電気標準会議(IEC)の規格化を目指している。

IOTに使われている半導体チップ「Quark」(米インテル提供)

IOTフォーマット策定のためのWGは半導体部会の「半導体技術委員会」に属する「EDA技術委員会」が構成する組織の一つ「LPIB相

互設計ワーキンググループ(LPIB WG)」が、高密度集積回路(LSI)とパッケージとボードの相互接続規格を目指している。

このWGは半導体部会の「半導体技術委員会」に属する「EDA技術委員会」が構成する組織の一つ「LPIB相

互設計ワーキンググループ(LPIB WG)」が、高密度集積回路(LSI)とパッケージとボードの相互接続規格を目指している。

この